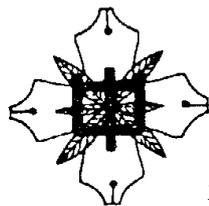


【教育目標】 将来をみつめ「学び考える力」「自他を大切にできる心」「たくましく生きる力」を育てよう



十中だより

平成29年1月19日 発行 第20号

発行者：中野区立第十中学校

今年もよろしくお願ひします

あけましておめでとうございます。

今年が酉年。「酉」という字は、酒を入れるカメの形から来た象形文字とのこと。その「酉」に水を意味する氵(さんずい)が付加されて「酒」の字になったといわれる。古代の酒は、穀物を発酵させて製造していたため、「酉」は収穫した作物から酒を抽出するとか、果実が成熟の極限に達した状態を意味するようになり、「実る」という意味をもつようになった。

今年が干支の「酉」にふさわしい実りの多い年となることを期待したい。



見て見ぬふり辛い 高1が涙

1月5日のニュース報道。ご存知の向きもあろうが、なんとも素敵な話の概略を紹介したい。お読みいただき、何かを感じていただければ幸いである。

それは、昨年12月21日夕方の出来事。女子高生(高1)が自転車での下校途上、埼玉県鴻巣市内の交差点を通りがかった際、新聞紙や折り込みチラシが半径約3メートルにかけて大量に散乱しているのを目撃した。一旦はそのまま通り過ぎたものの、何もしない自分に辛くなり、「現場」に戻った。

当初は古紙を自転車の前かごに積んで自宅に持ち帰ろうとしたが、量が多くてかごに収まりきれなかった。そこで、500メートルほど離れたコンビニへ行き、ゴミ袋を買って戻り、再び拾い集めた。現場は交通量の激しい通り。彼女は青信号になるたびにひたすら拾い続けた。

午後5時20分ごろ、鴻巣署に「女子高生が落とした荷物を一人で拾っている。かわいそうだから助けてほしい」と連絡が入った。署員が駆け付けると、すでにごみ袋3袋分、計10キロの古紙が「回収」されていた。持ち帰り方法を考えていた矢先に署員が到着。安心した彼女の目からは涙がこぼれた。

1月4日、埼玉県警鴻巣署は、彼女の健気な行動は他の模範であるとして感謝状を贈った。

彼女はバスケット部に所属しており、学校周辺のごみ拾いなど美化活動をしてから朝練に取り組んでいる。新聞社のインタビューに「学校でもやっているのだから当たり前と思って拾いました」と当時を振り返り、「周りの事をもっと見られる一年にしたいです」と微笑んだ。

以上が概略だが、このニュースに関してネット上に多くの感想が寄せられている。

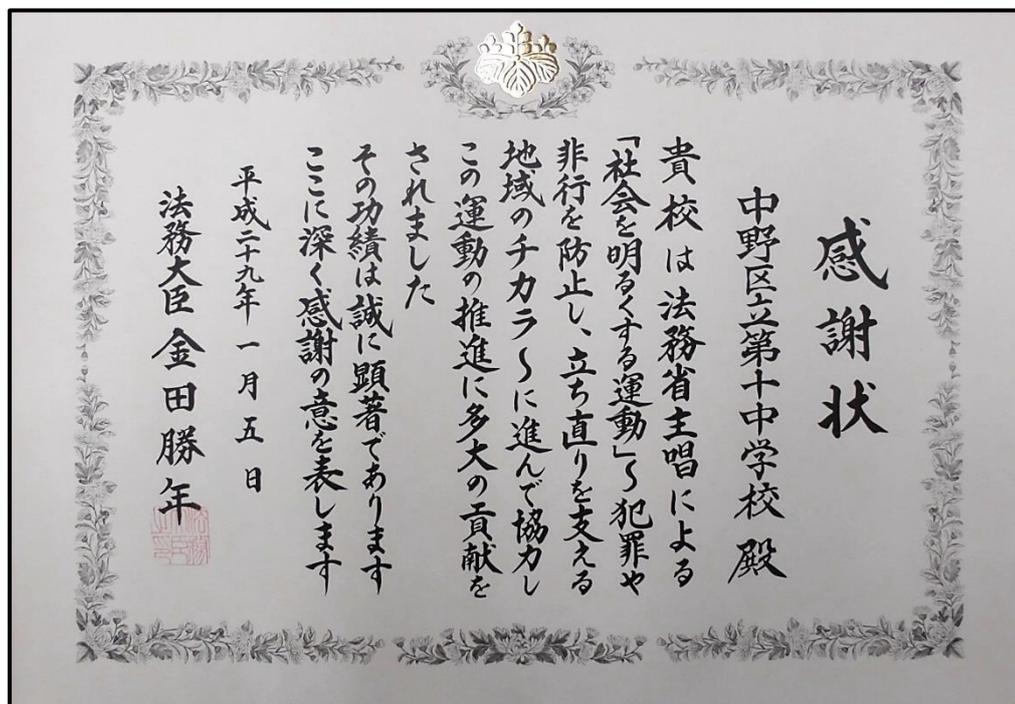
- 見て見ぬ振りの罪悪感を知っている子なんだろう。心根が綺麗に育ったんだろうね。うちの娘もそう育てたい。頭の良し悪しだけじゃ駄目、人間らしく育てたい。
- 私も倒れている自転車くらいなら起こすけど、それだけ大量の古紙を自分のお金使ってまで拾わないと思う。見習わないと・・・。
- 何て、いい子なんだろう！始めたもののなかなか終わらず、ごみ袋も増えてどうしようかと心細くなるよね。
- 学校でもやっているのだから当たり前と思った。こんな素直な子に我が子も育てて欲しい。
- 優しいし勇気もある子だね。見て見ぬ振りする自分が許せない、こういう気持ちを自分も持ち続けたい。
- 感動した。こういう人、こういうニュースで溢れる世界になるといいなあ。僕もこういう人にならないとな・・・。
- 警察に連絡するのでなく、これを見ていた人も一緒にやってあげる世の中だといい。

ともかくも、見て見ぬふりをして通り過ぎる自分を受け入れられず、後先を考えずに一心不乱に古紙を集めた一人の女子高校生の行動は、多くの人々の心を揺り動かした。

法務大臣感謝状を受賞

1月5日、本校は、“社会を明るくする運動”法務大臣感謝状を受賞するという栄誉を賜りました。

長年にわたり同運動に協力し、その功績が顕著であるとのことですが、身にあまる光栄と感じております。ご推薦くださいました“社会を明るくする運動”中野区推進委員会、中野区保護司会には心から御礼申し上げますとともに、本校を支えてくださっている保護者・地域の皆様にご報告及び感謝申し上げます。



明るい社会の原点は、未来を担う子どもたちが明るく健康でなくてはなりません。今後も、十中生が明るく元気な中学校生活を送ることができるよう教職員が一体となって教育活動の充実に努めて参ります。

保護者及び地域の皆様におかれましては、今後も十中生の健全な育成にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

中野区中学生意見交流会

12月17日(土)、第10回中野区中学生意見交流会(生徒会サミット)が十中を会場として実施されました。十中役員は会場校としての各種準備及び交流会の運営に積極的にに関わり、大活躍をしました。

交流会では区内11中学校の生徒会役員70名が十中を集い、各校が抱えている生徒会の様々な課題や、成果を上げている各種取組について発表し、活発な意見交換も行われました。交流会への参加によって、これからの生徒会活動の中で活用できそうな他校の実践を学ぶことができ、参加した役員にとっては大変有意義な日となったようです。

今後の十中生徒会の活躍に期待します。



11校の生徒会役員が集合



分科会での熱心な意見交換

吹奏楽部 冬のコンサートを実施

12月24日(土)、午後2時から本校体育館で吹奏楽部「冬のコンサート」が開催されました。コンサートは2部制で行われ、第1部はアンサンブルステージとして、「コッツウォルズの風景」「小さな祝典音楽」「天の剣」が、第2部はポップスステージとして、「Let it go(「アナと雪の女王」より)」「ファミリー・アニメコレクション」「津軽海峡冬景色」「クリスマス・フェスティバル」が演奏されました。最後はアンコールに応え、「第九プラスロック」を演奏しコンサートを終えました。

当日はクリスマスイブの大変肌寒い1日でしたが、吹奏楽部の熱気溢れる演奏に大勢の観衆から盛大な拍手をいただき、寒さを感じさせませんでした。また、ご来校いただいた方からは、時間の長さを感じさせない、楽しく素敵なコンサートでしたというご感想をいただきました。



小貝先生が指揮、菅先生はドラムを担当

作品展合同開催

1月13日(金)から20日(金)まで作品展が開催されました。

今年も、連携小学校の塔山小学校及び谷戸小学校も出品され、昨年に引き続き3校合同開催となりました。18日(水)に塔山小児童が、19日(木)に谷戸小児童が同作品展に訪れ、熱心に作品を見学していました。

＜作品展保護者アンケートより＞

- 谷戸小6年生のランドセルの絵は、6年間の思い出が伝わってきて感動しました。また、塔山小の祝龍はワイルドでびっくりです！すばらしい作品でした。私自身、美術が苦手でしたので、子どもたちの作品を見てよくできているな～！と完成度の高さに思わず拍手でした。(3年保護者)
- 生徒さんがきちんと挨拶してくれて本当に嬉しかったです。先生方のご指導の賜物だと思います。十中にお世話になれて本当に良かったです。(1年保護者)



熱心に見学する塔山小2年生

道徳授業地区公開講座

1月14日(土)、道徳授業地区公開講座を実施しました。1学年は「勇気・希望・強い意思」、2学年は「生命尊重」、そして3学年は「日本人としての自覚、文化の継承と創造」をテーマに、道徳授業を保護者・地域の方々に公開しました。

この日は、元東京都中学校道徳教育研究会長で、現在は実践女子大学で学生に道徳教育論を教えている福田鉄雄先生を講師にお迎えし、ご指導をいただきました。

後日、福田先生から、「若手教員の熱意を感じました。どの先生も生徒と向き合い、いい授業づくりに向けてがんばっていると思います」というメールをいただきました。

☆中野区検定☆

○ 中野ものしり博士

松本 洗介(2B)

昨年11月27日(日)、第3回中野区検定が実施されました。十中は大人1名と生徒3名も受験し、松本君が高得点を収め「中野ものしり博士」に認定されました。

1月13日(金)、中野区役所において認定式が行われ、松本君に認定書が授与されました。認定書を手にした松本君は「これからも住んでいる中野のことについてたくさん知りたい」と抱負を述べていました。

☆漢字検定☆

○ 2 級

森田 馨(3C)

○ 3 級

赤星 怜依(2A)、亀井 美桜(2A)
久保田瑞生(2A)、二階堂 詩(2A)
井山もも子(2B)、新里 唯(2B)
浪間 香苗(2B)、大村 実咲(3A)
島上 陽(3B)

○ 4 級

國行 七海(1A)、小笠原瑠花(1B)
増田 智美(1B)、矢野 龍介(2A)
柴田 健介(2B)、見市 鈴(2B)

○ 5 級

田中 弘望(1B)、常石 菜々(1B)

☆読書感想文コンクール☆

○ 銀 賞

村上 理子(3A)

○ 銅 賞

仲村 望(3C)



和やかな話し合い活動